

フロッグ 漢字の成り立ちと生い立ち……8

I 漢字は遊びで学べる

1章 古代文字クイズで漢字の世界へ……19

まずは準備体操！これ、なんなんだ？……20

みんな大好き！動物漢字クイズ……24

へえーとおどろく数の漢字クイズ……28

漢字探偵になろう！推理ゲーム……30

いろいろ遊べる人の姿からできた漢字……36

どこの部分？人の体をあらわす漢字……42

2章 漢字あそびでおぼえよう……49

文字のたし算……50

五画で合格！……56

漢字バラバラ事件……58

同じ形が入ります……60

II 作って遊ぶ漢字教具

3章 子どもと作る漢字ゲーム……69

もりあがる！古代文字すごろく……70

絵とカードで漢字のパノラマ……72

くるくるまわして紙コップ漢字ルーレット……74

4章 偏旁冠脚パズル……81

漢字あわせパズル① 偏と旁 冠と脚……82

漢字あわせパズル② たれとによっ……84

漢字ビンゴゲーム……88

漢字ジグソーパズル……96

5章 画数あそび……107

画数じゃんけん……108

画数ピラミッド、画数ダイヤ、画数ツリー……110



上下型・左右型の漢字表(学年別)……116

解説

市民向け「漢字あそび」の実践から生まれた本 伊東信夫……120

あとがき……124

【コラム】

古代世界を解き明かす白川静文字学……16

白川文字学と漢字学習①

勉強のイメージを変えさせる古代文字の魅力……44

白川文字学と漢字学習②

成り立ちを知れば、字形や書き順にも納得できる……66

白川文字学と漢字学習③

子どもも親もお年寄りも、遊んで学ぶ漢字教室……102

古代世界を解き明かす 白川静文字学

白川静博士は、甲骨文字や金文を研究し、これまで通説であった後漢の許慎が著した『説文解字』(紀元一〇〇年の著)とは違う解釈をふくむ漢字の成り立ちや文字の系列を発表しました。それは、古代中国の人びとの生活のようすやもの考え方などをおして、漢字のもともとの意味を読み解くものであり、博士が打ち立てたこのような新しい学説を「白川文字学」といいます。

白川文字学のなかでとくに有名なのが、「𠂔」字説(載書字説)です。「口」のつく漢字のなかには、「くち」という意味だけでは字の成り立ちが説明できないものや、矛盾が生まれるものが数多くあると気づいた博士は、古代の人びとの暮らしをもとに、「口」の部分を神にささげる祝詞(のりと)を入れる器の形と読み解きました。たとえば、「名」という漢字について、許慎は「夕」と「口」から構成されているとし、暗い夜(夕)には相手の顔が見えないから、口で自分から名乗ると説明しました。それに対して、博士は、「夕」(肉の省略形)と「𠂔」から構成され

ているとし、神に祭肉(夕)を供え、祝詞をあげて子どもの成長を告げる儀式をおこない、そのときにつけたのが「名」であると説明したのです。

「口」の形をもつ告・右・言・知・兄・可……などの字もみな、𠂔によって説明がつかめます。このように、博士が𠂔を神にささげる祝詞を入れる器の形と読み解いたことにより、これまで疑問をもたれていた多くの漢字の成り立ちや系列が明らかになりました。

またほかにも、「示」を神に捧げものをするのためのテーブルと解釈した祭卓説(示・祭・社……)や、「文」を入れ墨と解釈した文身説(文・産・顔……)、「力」を筋肉ではなく農具のすきと解釈したすき説(力・男・助……)などの新しい字説を打ち立てました。

白川文字学は、漢字のもともとの意味を読み解き、古代人の生活やものの考え方をいきいきとよみがえらせたのです。現在、その著作は中国語や韓国語に翻訳され、海外でも出版されています。

白川静博士は一九二〇年、福井県福井市生まれ。『字統』『字訓』『字通』(いずれも平凡社の字書三部作のほか、著書多数。二〇〇四年、文化勲章受賞。二〇〇六年没。

まずは準備体操！

これ、なーんだ？

古代文字を大きく見せて、
いまの漢字を当てごします。
導入にぴったりのクイズです。

①これ、なーんだ？



★横から見たところですよ。

②これ、なーんだ？



★長髪の人を横から見た形。

③これ、なーんだ？



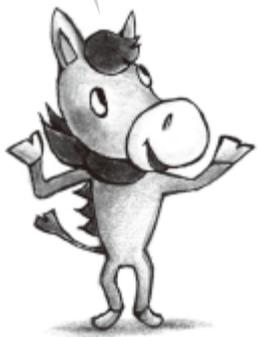
★手に持つすずの形。これを鳴らして……？

④これ、なーんだ？

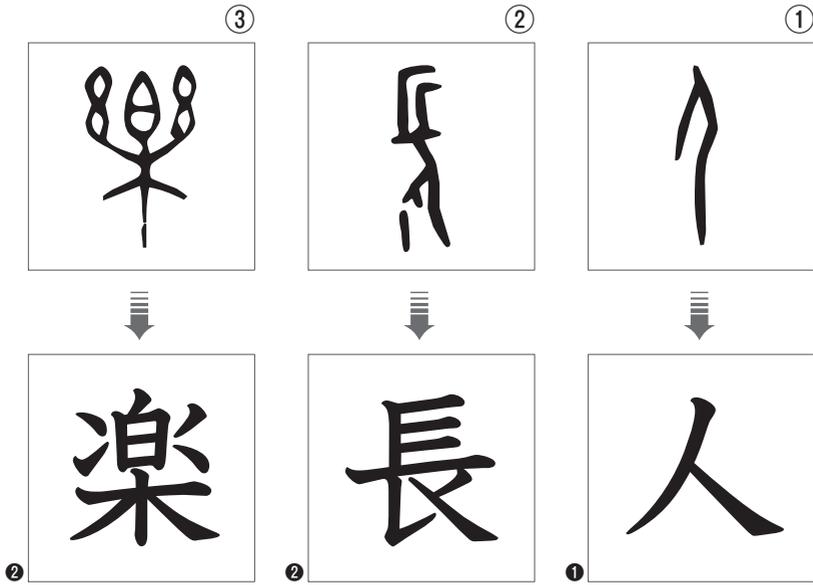


★空からなにかが……。

形だけではむずかしいものは、
ヒントを出しながら進めます。
答えは23ページを見てください。



「答え」



★体の一部です。



★酒だるに人が近づいて……。

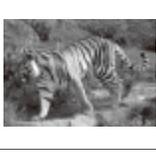


動物漢字クイズ

みんな大好き！

子どもからおとなまで人気のクイズです。古代の人は、どのように動物を見ていたのでしょうか？

楷書と古代文字を線で結びます。習っていない漢字でも、写真を見て推理できます。

	②	馬 
	④	象 
	⊕	虎 
	⊕	亀 
	②	魚 
	②	鳥 

答え：上の古代文字から順に、象、馬、虎、鳥、亀、魚

	①	犬 
	★	兔 
	⊕	豚 
	③	羊 
	⊕	鹿 
	②	牛 

答え：上の古代文字から順に、鹿、兔、犬、豚、羊、牛

【ヒント】「牛」と「羊」は似ています。「犬」「豚」「兔」が難関です。

くるくるまわして 紙コップ漢字ルーレット

おもての窓には古代文字、
うらの窓には答えの楷書が！

おもての窓



真後ろを見ると……



重ねた紙コップをとりはずすと……



古代文字のちようど真後ろの窓に、
答えの楷書が現れるしかけです。

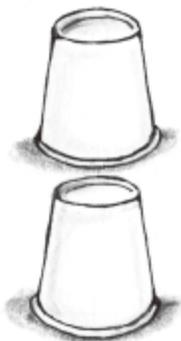
いろいろ作れます。



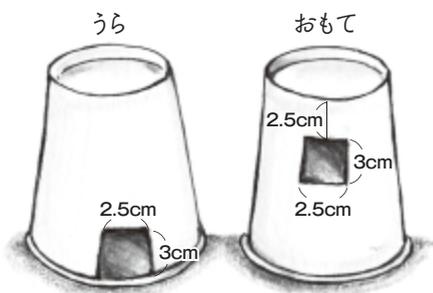
(記入例は76ページから紹介します)

※作り方

① 400ミリリットル用の
紙コップを2つ用意します。

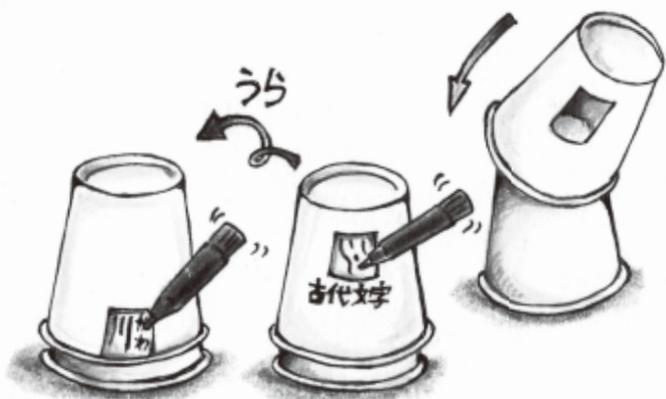


② 1つの紙コップには
窓をつつあけます。



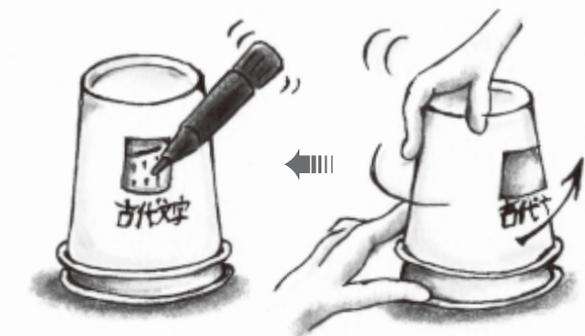
③ もう1つの紙コップの上に
窓をあけた紙コップを重ね、

おもての窓のなかに古代文字を、
うらの窓のなかには、
いまの漢字と読み方を書き入れます。



④ 書き入れ終わったら、
上の紙コップを少し回してずらし、

つぎの文字を書いていきます。
窓の大きさを小さくすると、
たくさん文字を書くことができます。



画数ピラミッド、画数ダイヤ、画数ツリー

総画数をたしかめながら、マス目に合うカードを置いていきます。

※作り方

5センチ角の漢字カードと、それを置くマス目の台紙を作ります。ピラミッド型(15枚)、ダイヤ型(16枚)、ツリー型(20枚)などで楽しめます。



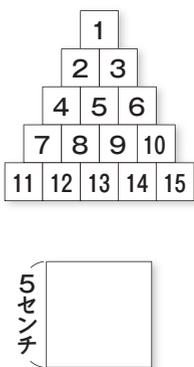
※遊び方

カードに書かれた漢字の画数を数えて、あてはまる数字の場所にカードを置きます。1のところにはかならず「1」が入ります。2のところには2画の漢字を、3のところには3画の漢字を……と置いていって、カードをぜんぶ置いたら、漢字のピラミッド、ダイヤ、ツリーができあがります。まちがった場所に置いたときは、最後にマス目がそろわなくなり、そのときは、ゆっくり時間をかけて見直してみましょう。

「画数ピラミッド」(1セット15枚)



4画	手	3画	大	2画	九	1画	一
8画	雨	7画	赤	6画	字	5画	出
12画	森	11画	強	10画	校	9画	草
15画	線	14画	聞	13画	数		



(1年生中心の漢字の例)

解説 市民向け「漢字あそび」の実践から生まれた本——伊東信夫

●「白川文字学の室」開設をきっかけに

白川静博士が文化勲章を受賞され、福井県立図書館に「白川文字学の室」という資料室が設置されました。そのことによって、初めて漢字学の内容が一般の人びとの目に触れる状態ができたようになりました。

そのころ、白川博士から一通の手紙が届きました。その概要は、「文字学の室」は多くの小学生が遠足に来るところですので、あなたの作った資料もひとそろい送っておいってください」というものでした。

私は長年、漢字を楽しく、また体系的に学ぶための本やカルタなどの制作にたずさわってきました。それらは「従来の字書の説明では正しい漢字の学びはできない。白川文字学に依拠したものでなければならぬ」という考えで作られたものです。白川博士に直接ご指導を仰ぐ機会にも恵まれました。それで、「白川文字学の室」のお知らせをいただいたのです。

さっそく手作りの漢字あそびのカード類や、ワークブックなどを段ボールに入れて福井県教育庁生涯学習課あてに送ったところ、当時の担当であった山田淑美主任が、すみずみまで目を通してくださいました。また、西川一誠福井県知事も、「白川文字学は、小学生の漢字教育に適用されるもの

でなければならない」という考えでありました。

漢字の学びには、字書によってその意味を知ったり、先生の説明によって学ぶだけでなく、「漢字あそび」によって学ぶ、という側面があります。そしてまた、漢字の学びは、学校のなかだけで成り立つものでもありません。一般の社会においても、それぞれの家庭においても、りっぱに成り立つものです。漢字は、カルタやカードゲームなどの「遊び具」になるものだからです。しかもそれは手作りできるものですから、福井県の生涯学習課は、またたくまに漢字あそびを作っていました。

●福井県「漢字あそび大会」の誕生

漢字あそびの材料を飾りものしておくわけにはいきません。漢字あそびのカードやワークブック作りの講座が、生涯学習講座の一環として開かれました。

装置にカードを入れると、それが反転して出てくる仕掛けの教具（ブラック・ボックス）の製作講座もおこなわれ、人気を博しました。カードの表と裏の対応関係で、漢字のつながり、と構造が理解できるものです。

このようにして漢字あそびの道具が整えば、必然的にこれを一般の方々にも公開し、直接手にとってもらい、漢字カルタやトランプあそびをやってもらおう、ということになります。そのようにして、福井県の「漢字あそび大会」が始まったのです。

始めてみますと、それはそれは、毎日が大好評でした。参加するのは子どもたちだけではありません。お父さんやお母さん、また多くのおじいちゃん、おばあちゃんと連れだってやってきました。

畳表の敷かれた広い会場では、一日中、漢字ゲームが繰り広げられます。また、会場の片隅には、自分や家族の名前の文字を古代文字で短冊に書いてもらえるコーナーがあり、書いてもらいながら、その文字の由来について説明を聞くことができます。講座の終わる時間まで行列ができて、一刻も途切れることはありませんでした。

「漢字あそび大会」は年に数回開催され、また、ほかにもさまざまな講座や漢字教室が開かれ、多くの参加者が楽しんでいます。

●だれでも楽しく深く学べる教具への発展

そうした「漢字あそび大会」や白川文字学にもとづく漢字講座の担当として、二〇〇九年よりその実践に取り組んできたのが、この本の著者、今村公一さんです。

今村さんはいへん熱心に取り組んで、漢字あそびの内容や教具を一つひとつ丹念に、また緻密に作り直しました。さらに、パソコンを駆使して講座内容を視覚的に演出し、だれでも楽しく漢字について知ることができるよう工夫されています。

それらは、一つひとつの文字の成り立ちとともに、その文字が漢字の全体構造とどう関わり、つながりあっているかまでを伝える内容になっています。子どもはもちろんのこと、親や先生、そし

て祖父母世代まで、幅広い年齢層に漢字のおもしろさを伝える仕事を、今村さんはやってのけてしまっただけです。

それらの漢字あそびを、いつでもどこでもできるように紙面に表現したのが、この本に展開されている内容です。漢字はあそびで学べるのです。

以前、白川博士の目の前で、自作した漢字あそびのカード類を操作してお見せしたとき、先生はひとと言、こうおっしゃいました。

「孔子さんも遊びの名手でしたからねえ」

福井県で育ったこの実践が、本書をとおして全国のみなさんの「宝」として共有されることを熱望するものであります。

(日本語教育・漢字研究家)

あとがき

私は、平成二十一年度より四年間、福井県教育委員会で白川文字学の普及事業を担当させていただきました。一般に事業の担当者は主催者として、講師を探して講座などの依頼をするなどのマネジメントをおこなうのですが、元来凝り性で中学教師でもあった私は、自分自身が解説できるだけの知識を身につければ、もっと手軽に講座が企画できると思います、その内容のおもしろさも手伝って楽しく勉強し、講師を務めることができるまでになりました。おかげさまで、いろいろなところから講演の依頼がくるようになり、ハム先生^①として県内外の学校や公民館などで出前講座などを数多くおこないました。

そのなかでつねに一番人気のある事業が、古代文字や常用漢字を使ったゲームやクイズで楽しく遊ぶ「漢字あそび大会」です。そこで体験してもらおうゲームやクイズは、漢字研究家の伊東信夫先生（東京在住）の著書の内容を参考に、いろいろ工夫や改良を加えてコツコツと作ってきたものです。毎回この漢字あそび大会を楽しみに参加されている常連の方も多いため、「今回はどんなゲームが増えているのか」という期待に応えるために、回を重ねるごとに新しいゲームを加えていきました。漢字あそび大会で常設コーナーを担当していただいている伊東先生は、福井に来られるたびに、「こんなすばらしい取り組みをしているのは、日本中どこを探しても福井県以外には見当たらない」と言ってくくださり、そして今回は解説をご執筆いただき、大変ありがたく思っております。

また、県外の教育関係者が見学に訪れたり、県外からわざわざ参加された方が、「福井県の学力が高い秘密は、こういったところにもあるんですね」と、感心されたりすることがありました。そんなときは、これまでの地道な取り組みが評価されたようで、本当に努力してきたかいがあつたとしみじみ感じる瞬間です。

こうした取り組みを通じて、今回、本を出版する機会に恵まれました。私のまえに担当された生涯学習課の山田主任、下山主任がしっかり道をつくり、導いてくださったおかげです。あらためてお礼を申し上げます。

本書では、これまで私がおこなってきたさまざまな漢字あそびの内容を紹介させていただきました。ご家庭などでも作って遊べるように、作り方や作る時に必要な資料も用意してあります。福井県で人気のある漢字あそびが全国でおこなわれるようになれば、こんなにうれしいことはありません。ぜひ、作って遊んでいただきたいと思います。

楽しく遊びながら漢字に親しむことで、漢字の好きな人はますます好きに、漢字の嫌いな人は少しでも好きになっていただけたら幸いです。

意外ななりたちに、子どもの興味がぐんぐんふくらむ。

白川静文字学に学ぶ

漢字なりたちブック1年生～6年生

伊東信夫=著/金子都美絵=絵



四六判・並製・本文2色刷

【1年生】…80字/128ページ/1200円+税

【2年生】…160字/200ページ/1400円+税

【3年生】…200字/256ページ/1400円+税

【4年生】…200字/256ページ/1400円+税

【5年生】…185字/240ページ/1400円+税

【6年生】…181字/240ページ/1400円+税

*—6年生は2013年7月刊行

小学校で習う漢字1006字のなりたちを、学年別にとまとめたシリーズ。漢字に秘められたもとの意味を、「絵+古代文字+なりたち」でわかりやすく解説。1ページ1文字の構成で全学習漢字を収録し、画数・書き順・単語用例も併記しています。面白くて覚えやすい、子どもに教えやすい、画期的シリーズです。

全巻ご購入のお客さまに、
ぼくモンジロウのオリジナルグッズをプレゼント!
くわしくは『6年生』(近刊)を見てね。



著者紹介

今村公一(いまむらこういち)

福井県・中学校教員。一九六三年、福井県生まれ。二〇〇九年より四年間、福井県教育庁生涯学習・文化財課で「白川文字学」に関する講座の講師をつとめ、「白川静博士の漢字の世界へ」(福井県教育委員会編・発行、平凡社発売)の執筆を担当。さまざまな漢字カードゲーム等を考案・作成している。

作って遊べる、すつと学べる。パズルとゲーム

福井発 オモシロ漢字教室

二〇一三年五月〇日 初版印刷

二〇一三年六月五日 初版発行

著者——今村公一

装丁——箕浦卓

イラスト——たかはらちち

発行者——北山理子

発行所——株式会社太郎次郎社エディタス

東京都文京区本郷四・三・四三階 郵便番号 一三三・〇〇三三

電話 〇三三・八一五〇六〇五 FAX 〇三三・八一五〇六九八

http://www.tarojiro.co.jp/ 電子メール tarojiro@tarojiro.co.jp

印刷・製本——凸版印刷

定価——カバーに表示してあります

ISBN978-4-8118-0764-5 C0037

©MAMURA Koichi, 2013. Printed in Japan

写真提供: Tomo Yun [http://www.yunphoto.net]

(「動物漢字クイズ」の馬・亀・魚・鳥・犬・兎・豚)

分ければ見つかる知ってる漢字! 白川文字学にもとづくロングセラーの教材シリーズ。

宮下久夫・伊東信夫・篠崎五六・浅川満=著
金子都美絵・桂川潤=絵



象形文字・指事文字に絵と遊びで親しみ、
それらがあわさってできる会意文字の学びへ。
つぎに、もっともつまずきやすい部首をとびきり楽しく。
漢字の音記号に親しんで、
形声文字(部首+音記号)を身につける。
仕上げは、漢語のくみたてと、
日本語の文のなかでの単語の使い方。
漢字の体系にそくした、
絵とゲーム満載の学習システムです。

漢字がたのしくなる本 テキスト ①～⑥

B5判・並製／各1000円+税

漢字がたのしくなる本 ワーク ①～⑥

B5判・並製／各1155円+税

[新版]あわせ漢字ビンゴゲーム
①2～3年生編 ②4～6年生編
各1300円+税

部首トランプ

トランプ2セット入り(26部首・104用例漢字)／
1800円+税

十の画べえ[漢字くみたてパズル]

カラー8シート組／1835円+税

[新版]101漢字カルタ

よみ札・とり札 各101枚／2300円+税

[新版]98部首カルタ

よみ札・とり札 各98枚／2400円+税

108形声文字カルタ

よみ札・とり札 各108枚／2845円+税

ようちえんかんじカルタ

よみ札・とり札 各50枚／1600円+税



*——全国の書店でお求めになれます。